



2020年 国内文学賞等受賞作品



文学・純文学

芥川龍之介賞 通称「芥川賞」。昭和10年、菊池寛が「芥川・直木賞宣言」を発表し、直木賞と同時に創設。“雑誌(同人雑誌を含む)に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品”から選ばれる。

【第163回】 首里の馬	高山 羽根子	913.6/夕	中学生の頃から、郷土資料館で資料の整理の仕事をしている未名子。彼女は海外の人々にビデオ通話でクイズを出題するという奇妙な仕事も持っていて…。
【第163回】 破局	遠野 遙	913.6/ト	充実したキャンパスライフを送る大学生の陽介は、恋人とすれ違いが続く中、新入生の灯 ^{あかり} に出会った。肉体も精神も潔癖に鍛え上げてきたはずの男の「破局」を描く。
【第164回】 推し、燃ゆ	宇佐見 りん	913.6/ウ	家庭にも学校にも、うまくなじめない女子高生のあかりは、男性アイドル・上野真幸 ^{まさき} を“推す”ことに心血を注いでいた。しかしある日、真幸がファンを殴って炎上し…?

泉鏡花文学賞 金沢市が主催する文学賞で、泉鏡花生誕100年を記念して昭和48年に制定。前年一年間に刊行された小説や戯曲などの文芸作品の中から“ロマンの薫り高い作品”を対象とし授賞する。

業平 小説伊勢物語	高樹 のぶ子	913.6/夕	歌物語の不朽の名作として、文学史にも名高い『伊勢物語』。その著者にして主人公とされる在原業平の色好みの生涯を、伊勢物語の内容から採り小説化。
-----------	--------	---------	--

大藪春彦賞 エンターテインメント小説史に偉大な足跡を残した作家・大藪春彦の業績を記念し創設。優れた物語世界の精神を承継する新進気鋭の作家および作品に贈られる。

犬	赤松 利市	913.6/ア	ニューハーフ店を営む63歳のトランスジェンダー・桜の元に、昔の男が現れた。儲け話を持ち込んできた彼のために一千万円を用意して彼の気を引こうとするが…?
---	-------	---------	---

織田作之助賞 「織田作之助賞実行委員会」(大阪市、大阪文学振興会、関西大学、毎日新聞社など)が主催する文学賞である。大阪生まれの作家・織田作之助の生誕70年を記念して、昭和58年創設。

【ロバラン】 魯肉飯のさえずり	【おんゆうじゆう】 温 又柔	913.6/オ	日本人の父・茂吉と台湾人の母・雪穂のもと、日本で生まれ育った桃嘉。就職活動に挫折した彼女は、理想の相手と思われた恋人のプロポーズを受け入れるが…。
--------------------	-------------------	---------	---

角川春樹小説賞 公募。エンターテインメント全般(ミステリー、時代小説、ホラー、ファンタジー、SF 他)を募集し、プロ・アマを問わない。

【質草女房】 (「すっきりしたい」より改題)	【まさいち】 渋谷 雅一	913.6/シ	彰義隊に入った夫に、質草にされたけい。貧乏浪人・柏木は、質屋からけいの夫の搜索を頼まれ会津へ向かうが、その道中、新政府軍の参謀・速水興平と出会い…。
---------------------------	-----------------	---------	--

芸術選奨文部科学大臣賞 文化庁主催の賞。文学など11部門にわたり、その年にすぐれた作品を発表、また業績をあげた人物に、文部科学大臣から贈られる。

【文学部門】 山海記(せんがいき)	【かずみ】 佐伯 一麦	913.6/サ	水辺の災害の歴史を辿る旅を続けている男は、東北の震災と同じ年に土砂災害に襲われた紀伊半島へ向かう。災害の傷跡を見る彼の胸中を去来するものとは…。
【文学部門】 石蓮花(せきれんか) 歌集	吉川 宏志	911.1/ヨ	家族や沖縄を想う心、日常の何気ない風景を、短歌という詩形に鮮やかに切り取った350首。2015~2018年の作歌の中から選んだ第八歌集。
【新人賞 文学部門】 遠い他国でひょんと死ぬるや	宮内 悠介	913.6/ミ	宇治山田生まれの詩人・竹内浩三は、23歳でルソン島で戦死した。その足跡を追い、職を辞してフィリピンに渡った主人公が見たものとは…。前代未聞の冒険小説。

司馬遼太郎賞 財団法人・司馬遼太郎記念財団が主催する文芸・学芸・ジャーナリズムを対象とした賞。毎年年末に発表され、翌年2月12日(菜の花忌:司馬遼太郎の命日)に授賞式が行われる。

ナポレオン ①~③	佐藤 賢一	913.6/サ	1769年、コルシカ島の貧乏貴族の次男として生まれたナポレオン。一代でヨーロッパの頂点へ駆け上がった男の怒濤の人生を、全3巻のボリュームで描き出す。
-----------	-------	---------	--

柴田錬三郎賞 昭和63年に柴田錬三郎の業績を称えて創設された。“現代小説、時代小説を問わず、真に広汎な読者を魅了しうる作家と作品を顕彰する”。集英社出版四賞の一つ。

逆ソクラテス	伊坂 幸太郎	913.6/イ	「僕は、そうは思わない」転校生の安齋が、クラスの雰囲気、そして少年の運命を変えていく。表題作含め短編全5編、すべての主人公を小学生に設定した一冊。
--------	--------	---------	---

島清(しませ)恋愛文学賞 恋愛小説を対象とした文学賞。平成6年、石川県美川町が、同町出身の作家島田清次郎にちなんで創設した。平成26年より、運営が金沢学院大学に移行。

【き】 生のみ生のままで 上、下	綿矢 りさ	913.6/ワ	25歳の逢衣 ^{あい} は、恋人との旅行先で、彼の友人とその彼女・彩夏 ^{さいか} に出会った。お互いに恋人がいるのに情熱的に惹かれ合う二人は、一緒に暮らし始めるが…。
---------------------	-------	---------	--

小説現代長編新人賞 公募。講談社が平成18年より「小説現代新人賞」をリニューアルし、授賞を開始した。小説誌『小説現代』においてジャンル不問で募集、発表される新人文学賞である。

檸檬先生 珠川 こおり 913.6/タ 小中一貫校に通う小学3年生の〈私〉は、音や数字に色が見える「共感覚」を持っていた。私が音楽室で出会った中学3年生の少女もまた、共感覚の持ち主で…。

小説すばる新人賞 公募。ジャンル不問のエンターテインメント小説を対象とする。集英社が発行する小説誌『小説すばる』の新人文学賞。集英社出版四賞の一つ。

樽太鼓がきこえる 鈴木 ふみ 913.6/ス 高校を中退した17歳の篤は、弱小相撲部屋・朝霧部屋に呼出見習いとして入門することに。力士たちの葛藤や厳しい稽古にふれた篤は、自分を見つめ直していく。

小説野性時代新人賞 公募。ジャンル問わず広義のエンターテインメント小説を対象とする。令和2年、「野性時代フロンティア文学賞」より改称。

化け者心中 蛸谷 めぐ実 913.6/セ 稀代の女形として人気を博しながらも足を失い失意に暮れる魚之助と、彼を支える気のいい鳥屋・藤九郎。奇妙なコンビが芝居小屋で起きた鬼の怪異の謎を追う。

親鸞(しんらん)賞 親鸞聖人の遺徳を顕彰するため、平成12年、本願寺文化興隆財団(現・本願寺維持財団)により創設。“日本の宗教風土とそこに根差した精神文化に基づく”優れた文学作品に与えられる。

グッドバイ 朝井 まかて 913.6/ア 幕末の長崎で、自分が継いだ老舗の^{しにや}大店を守るため、異国との茶葉貿易に打って出た女がいた。実在の商人・大浦慶の生涯を、時代のうねりとともに描き出す。

すばる文学賞 公募。集英社が主催する純文学の公募新人文学賞である。受賞作は同社が発行する文芸誌『すばる』11月号に掲載される。集英社出版四賞の一つ。

コンジュジ 木崎 みつ子 913.6/キ 過酷な家庭環境にいる小学生のせれなは、テレビで見かけた伝説のロックスター、リアンに恋をする。苦しみのたび、リアンとの妄想に逃避するせれなだが…。

太宰治賞 公募。三鷹市と筑摩書房が共同で主催する公募新人文学賞である。昭和39年筑摩書房により創設され、昭和53年中止。太宰治没後50年の平成11年より現在の形で復活した。

空芯手帳 八木 詠美 913.6/ヤ 女性差別が横行する職場や世間にうんざりした34歳独身の柴田は、ある日衝動的に「妊娠した」と嘘をつく。その日以来、空虚だった日々は変化を見せはじめ…。

谷崎潤一郎賞 中央公論社が、昭和40年の創業80周年を機に、作家谷崎潤一郎を記念して創設した文学賞。“時代を代表する優れた小説・戯曲”を顕彰する。

日本蒙昧前史 磯崎 憲一郎 913.6/イ 大阪万博、五つ子ちゃん誕生、グリコ・森永事件…。戦後を彩ったさまざまな事件やニュースと、その陰にある無数の生を、自由に語り手を変えながら描き出す。

中央公論文芸賞 中央公論新社が創業120周年を記念し、平成18年に創設した文学賞。「婦人公論文芸賞」を継承し、“第一線で活躍する中堅以上の作家のエンターテインメント作品”を顕彰する。

家族じまい 桜木 紫乃 913.6/サ 認知症を発症した母と、横暴で家族を振り回し続けた父。両親の老いに戸惑う初老の姉妹は、それぞれの夫との関係も揺れ動き…。5編からなる連作短編集。

直木三十五賞 通称「直木賞」。昭和10年、菊池寛が「芥川・直木賞宣言」を発表し、芥川賞と同時に創設。“新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本(長編小説もしくは短編集)”が対象。

【第163回】
少年と犬 馳 星周 913.6/ハ 震災後の仙台で、家族のため犯罪まがいの仕事に手を染める和正は、野良犬〈多聞〉を守り神として仕事に同行させるが…。犬を愛する人々に贈る連作短編集。

【第164回】
心淋し川(うらさびしがわ) 西條 奈加 913.6/サ 千駄木町の片隅、小さな川のどん詰まりに立ち並ぶ小さな長屋。住民たちもまた人生という川の流れに行き詰まり…。生きる喜びと哀しみが織りなす連作時代小説。

日経小説大賞 公募。平成18年、日本経済新聞創刊130周年を記念して創設された。新人に限らず、ジャンル問わず長編小説を募集する。

利生の人 天津 佳之 913.6/ア 鎌倉幕府滅亡から建武の新政へ。後醍醐天皇と志を同じくする楠木正成、正成に惚れ込んだ足利尊氏。同じ禅宗の同門だった彼らは歴史のうねりに引き裂かれる。

新田次郎文学賞 前年一年間に初めて刊行された作品で、小説、伝記、エッセイ、長短篇等の形式を問わず、かつ自然界(山岳、海洋、動植物等)に材をとった作品を対象とする。

土に贖う 河崎 秋子 913.6/カ 野幌でレンガ工場の頭目を務める男の決意を描く表題作をはじめ、ハッカ油、養蚕、ミンク養殖など、かつて北海道で栄えて廃れていった産業への悼みを描く短編集。

日本ファンタジーノベル大賞 公募。創作ファンタジー小説を対象とする。第25回をもって休止後、主催者を新潮文芸振興会、後援を読売新聞社とし平成29年から再開。

【優秀賞】
迷子の龍は夜明けを待ちわびる
(「あけがたの夢」より改題) 岸本 惟 913.6/キ 余命わずかな老人のために、天空語で書かれた日記を読んでやってほしい。依頼を受けた天空族のセイジが訪れた山の屋敷には、一族の秘密が眠っていた…。

野間文芸賞 講談社初代社長・野間清治の遺志により設立された野間文化財団が主催する文学賞で、純文学の小説・評論作品に授与される。昭和16年制定、中断を経て昭和28年復活。野間三賞の一つ。

小箱 小川 洋子 913.6/オ かつての幼稚園の講堂に並ぶガラスの小箱。子どもを亡くした親たちは、成長するわが子に贈る品物を箱に納め続ける…。孤独より深い祈りの有り様を静謐に描く。

野間文芸新人賞 野間文化財団が主催する純文学の新人に与えられる文学賞。昭和16年制定された野間文芸奨励賞を前身とする。中断を経て昭和54年、野間文芸新人賞と改称。野間三賞の一つ。

あなたが私を竹槍で突き殺す前に ^イ李 ^{ヨンドク}龍徳 913.6/イ 日本初の“嫌韓”女性総理が誕生。国内に排外主義が横行しヘイトクライムが激化する中、在日三世の柏木太一は反政運動のため仲間を集め始めるが…。

舟橋聖一文学賞 彦根市が平成19年に彦根城築城400年を記念して創設した文学賞。“名誉市民である舟橋聖一の文学世界に通じる優れた文芸作品”に授与される。

駆け入りの寺 澤田 ^{とうこ}瞳子 913.6/サ ^{ひえいざん}比叡山のふもとに建つ ^{ひくにこしよ}比丘尼御所。落飾した二人の皇女らが暮らす尼寺には今日も、苦しみを抱え逃げてくる民たちが…。涙あり人情ありの、典雅な連作短編集。

Bunkamuraドゥマゴ文学賞 Bunkamuraが主催する文学賞。“パリのドゥマゴ賞の持つ先進性と獨創性を受け継ぎ”、平成2年創設。毎年異なる選考委員が一人で授賞作を選定するのが特徴。

ホテル・アルカディア 石川 宗生 913.6/イ ホテル・アルカディアに閉じこもる絶世の美女・プルデンシアを救うべく、7人の芸術家が語った21の物語。80年後の今も伝説として語り継がれる朗読会の行方は…。

文藝賞 公募。昭和37年、雑誌『文藝』復刊を機に創設された文学賞。河出書房新社が主催し、“新人の登竜門”と位置付けて授賞をおこなっている。

水と礫 ^{れき}藤原 ^{むつ}無雨 913.6/フ 仕事中の事故をきっかけに帰郷したムザークは、弟分・甲一の後を追ひ、砂漠の向こうにあるという幻の町へと旅立った。灼熱の旅とともに描く一族の一大叙事詩。

本屋大賞 公募。平成16年創設。一般の文学賞とは異なり作家・文学者は選考に加わず、「新刊を扱う書店の書店員」の投票によってノミネート作品および受賞作が決定される。

流浪の月 凧良 ゆう 913.6/ナ 9歳の時に誘拐事件の被害者とされた更紗と、その犯人として逮捕された19歳の大学生・文。15年後の偶然の再会から、運命の歯車が回り出す…。2022年映画化。

【翻訳小説部門】
アーモンド ソン ウォンピョン 929.1/ソ 偏桃体が人より小さく、怒りや恐怖を感じることができない高校生・ユンジェ。“普通”に暮らせるように訓練してくれた家族を失った彼は、もう一人の〈怪物〉に出会う。

松本清張賞 公募。平成5年創設。松本清張の業績を記念して、文藝春秋が運営する。“ジャンルを問わない広義のエンタテインメント小説”を対象とする。(第11回以降)

震雷の人 千葉 ともこ 913.6/チ 舞台は唐代の中国。信念を持つ青年・季明は文官への志半ばで斃れた。許嫁の采春は興行一座に潜み、武芸を磨きながら復讐の時を待つ…。唐代大河小説。

三島由紀夫賞 昭和62年、新潮文芸振興会がそれまでの三大新潮賞にかえて制定した新潮四賞のうちの一つ。小説、評論、詩歌、戯曲を対象とし、“文学の前途を拓く新鋭の作品一篇”に授与される。

かか 宇佐見 りん 913.6/ウ 大好きだった母(かか)は離婚を経て心を病み、酒を飲んで暴れるようになった。19歳の浪人生・うーちゃんは、母を救うため無謀な祈りを胸に熊野に旅立つが…。

紫式部文学賞 平成2年、京都府宇治市と宇治市教育委員会が創設・主催。対象作品は“前年に刊行された文学作品で、女性を作者とするもの”に限る。

夢見る帝国図書館 中島 京子 913.6/ナ 上野公園のベンチで出会った老女・喜和子さんは、作家の〈私〉に、図書館が主人公の小説を書いてほしいと提案する。図書館と、図書館を愛した人々の物語。

山田風太郎賞 平成22年創設。KADOKAWA主催。ミステリ、時代、SFなどジャンルを問わず、“対象期間に発表され最も面白いと評価された作品”に贈られる。

じんかん 今村 翔吾 913.6/イ 主君の信長に二度も謀反を企て、室町將軍の暗殺に関与し、東大寺を焼き払った松永久秀。民を思い正義を貫こうとした青年はなぜ〈戦国三大梟雄〉となったのか。

山本周五郎賞 新潮四賞のうちの一つ。“毎年1月1日から12月31日までに、新聞、雑誌、単行本等に優秀な小説を発表した作家の中から、最も将来性のある新人作家”に対し授与される。

ザ・ロイヤルファミリー 早見 和真 913.6/ハ 成り上がりのワンマン社長が最後に求めたのは、馬主としての栄光だった。男の夢と馬たちは、息子の耕一に引き継がれ…。馬主一家の波乱万丈の20年を描く。

吉川英治文学新人賞 吉川英治の功績を記念して、吉川英治国民文化振興会が設立した吉川英治賞三賞のうちの一つ。昭和55年制定。1月1日～12月31日までの“最も将来性のある新人作家”に授与される。

八本目の槍 今村 翔吾 913.6/イ 秀吉の配下となった八人の若者のうち、功名を上げた七人は〈^{しずがたけ}賤ヶ岳の七本槍〉と呼ばれた。残る一人・石田三成は、関ヶ原ですべてを失い…。7編の連作短編集。

スワン ^こ呉 勝浩 913.6/コ ショッピングモール「スワン」で起こった無差別銃撃事件。惨劇の半年後、女子高生のいずみを始め5人の生還者が〈お茶会〉に招待される。謎の会合の目的とは？

読売文学賞 小説賞 昭和24年、“戦後の文芸復興の一助とするため”、読売新聞社が創設。小説賞のほか、詩歌俳句、戯曲、評論・伝記、研究・翻訳、随筆・紀行の6部門について授賞。

君が異端だった頃 島田 雅彦 913.6/シ 作家デビュー作がいきなり芥川賞候補となり、〈文壇の貴公子〉と呼ばれた「君」。そして昭和の文豪たちに振り回される日々が始まった…。自伝的青春私小説。

渡辺淳一文学賞 作家・渡辺淳一の功績をたたえ、平成28年に集英社により創設された。“純文学・大衆文学の枠を超えた、人間心理に深く迫る豊潤な物語性をもつ小説作品”が顕彰される。

アタラクシア 金原 ひとみ 913.6/カ 恋人に夫の影を感じる男、夫婦生活や家族に苛立ちを抱える女…。心の平穏を求めながらも欲望に振り回され、それでも結婚生活に救いを求めてもがく人々を描く。

ミステリー・ホラー・SF

アガサ・クリスティー賞 公募。早川書房と早川清文学振興財団が主催する長編推理小説の新人賞。英国アガサ・クリスティー社の協力のもと、平成22年に創設された。

地べたを旅立つ 　　そえだ 信 　　913.6/リ 　　事故に遭った警官の勢太は、目が覚めるとロボット掃除機になっていた。果たして勢太は30キロ離れた小樽へ辿り着き、義兄のDVから姪を守ることができるのか。

鮎川哲也賞 公募。東京創元社で刊行された推理小説シリーズ『鮎川哲也と十三の謎』の最終巻を一般公募したことを機に発足。“創意と情熱溢れる鮮烈な推理長編”を募集。

五色の殺人者 　　千田 理緒 　　913.6/セ 　　高齢者介護施設で働く新米介護士のメイが発見した、利用者の撲殺死体。犯人らしき人物を五人が目撃するが、その服の色についての証言が全員食い違い…。

江戸川乱歩賞 公募。昭和29年、江戸川乱歩が自らの還暦記念として資金を提供し、日本推理作家協会(旧:日本探偵作家クラブ)により制定された。受賞作は講談社から出版される。

わたしが消える 　　佐野 広実 　　913.6/サ 　　元刑事の藤巻は、自分に認知障害の症状が出ていることを知り愕然とする。娘から頼まれた、身元不明の老人の調査を最後の使命と感じるが…。社会派ミステリ。

『このミステリーがすごい!』大賞 公募。“エンターテインメントを第一義の目的とした広義のミステリー”を募集。一次選考通過作品は作品の概要や選考委員の評などをインターネット上で公開。

元彼の遺言状
(「三つ前の彼」より改題) 　　新川 帆立 　　913.6/シ 　　「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」…製薬会社の御曹司が遺した謎の遺言。弁護士の麗子は犯人選考会に参加し、依頼人を犯人に仕立てようとするが…。

小説推理新人賞 公募。昭和54年より双葉社が主催する新人文学賞。短編の“広義の推理小説”を募集する。

その意図は見えなくて
(「見えない意図」より改題) 　　藤 つかさ 　　913.6/フ 　　生徒会選挙で白票が異常に多かった理由とは? 将来への不安、友情、嫉妬…高校生活に潜む、人間関係の“事件”の謎を解き明かす、青春ミステリ連作短編集。

新潮ミステリー大賞 公募。新潮社主催、東映後援。最終候補作品は映像化が検討される。「日本推理サスペンス大賞」「新潮ミステリー倶楽部賞」「ホラーサスペンス大賞」の後裔と位置付けられる。

擬傷の鳥はつかまらない
(「私たちの擬傷」より改題) 　　おぎどう あきら
荻堂 顕 　　913.6/オ 　　「嘘の仕立て屋」を営むサチのもとを訪れた二人の少女。一人は身投げし、サチはもう一人を逃がすことに。一年前の「未成年売春婦殺人事件」と二人の関係とは?

日本推理作家協会賞 昭和22年、江戸川乱歩による日本探偵作家クラブの設立に伴い制定。その後改組、改称などを経て現在の形になった。「長編」「短編」「評論その他」の3部門あり。

【長編及び連作短編集部門】

スワン 　　呉 勝浩 　　913.6/コ (「吉川英治文学新人賞」欄参照)

【短編部門】 　　913.6/サ

夫の骨
(『ザ・ベストミステリーズ'2020』所収) 　　矢樹 純 　　/20 　　亡くなった夫は、血縁のない母を「佳子さん」と呼び、他人行儀な態度を取っていた。彼の遺品を整理していた私は、小さな桐箱に収められた乳児の骨を見つけ…?

日本ミステリー文学大賞新人賞 公募。光文社の光文文化財団が“新しい才能と野心にあふれた新人作家の発掘”を目的とし、平成9年創設。

馬疫
(「オリンピックに駿馬は狂騒う」より改題) 　　茜 灯里 　　913.6/ア 　　2024年、オリンピック再開催前の日本で、複数の五輪提供馬が未知の馬インフルエンザを発症した。感染馬は凶暴化して人を襲い始め…?! パンデミックミステリ。

ばらのまち福山ミステリー文学新人賞 公募。長編本格ミステリーを主な対象にした新人文学賞。推理作家の島田荘司の出身地である広島県福山市が主催しており、最終選考を島田荘司一人で行う。

報復の密室 　　平野 俊彦 　　913.6/ヒ 　　薬学部教授・大日方の娘が自殺。娘の交際相手の情報は「ミステリーの文学賞に応募している」ことだけ。果たして大日向は遺伝薬理学で犯人を特定できるのか?

依存 　　ふみしま かいと
文縞 絵斗 　　913.6/フ 　　高校生の息子と暮らすシングルマザー・香奈枝。恭一と出会い、彼の新しい命を授かるが、恭一は通り魔に殺されてしまう。香奈枝は息子が犯人ではないかと疑い…。

本格ミステリ大賞 本格ミステリ作家クラブが、本格ジャンルの発展を図るため設立。候補作を全て読んだクラブ会員の投票により決定され、「小説部門」と「評論・研究部門」に対し授与される。

【小説部門】

medium 霊媒探偵城塚翡翠 　　相沢 沙呼 　　913.6/ア 　　推理作家の身で数々の難事件を解決してきた香月は、霊媒師の少女・翡翠と出会った。香月は、彼女の霊視と論理の力を組み合わせて事件に立ち向かうが…。

翻訳ミステリー大賞 平成21年創設。日本語に翻訳された海外の推理小説が対象の文学賞。海外ミステリーの現役翻訳者の投票によって大賞が選ばれる。

11月に去りし者 　　ルー・バーニー 　　B933.7/ハ 　　1963年11月、ケネディ大統領暗殺。事件に近づきすぎたギャングは西部へ逃れる。道中、夫から逃げているという母子に出会い、行動をともにするようになるが…。

ミステリーズ！新人賞 公募。“ミステリー界に新風を吹き込む、推理短編の書き手の出現を熱望”し募集する。創元推理短編賞から数度の改称を経て、令和5年～「創元ミステリー短編賞」へ再改称。

影踏亭の怪談 大島 清昭 913.6/オ 怪談作家の姉は、^{まぶた}瞼を自分の髪で縫い合わされて眠っていた。姉が取材中だった旅館の怪異との関連を疑った僕は<影踏亭>に乗り込むが、密室殺人が発生し?!

メフィスト賞 公募。講談社が発行する文芸雑誌『メフィスト』から生まれた文学新人賞である。ミステリーに限らず、広くエンタテインメント作品を募集し、下読みはせず編集者が直接選考に参加する。

【第61回】
#**柚莉愛とかくれんぼ** 真下 みこと 913.6/マ 僕の“推し”青山^{ゆりあ}柚莉愛が、生配信中に吐血した。大騒動になるも、ドッキリだというネタばらしが。憤慨した僕は、SNSを駆使して柚莉愛を痛めつけようとするが…。

【第62回】
法廷遊戯 五十嵐 律人 913.6/イ 法律家を目指す^{きよし}清義と美鈴。二人の過去を告発する手紙とともに相次ぐ不審な事件。ロースクール生の警とともに真相を追う2人だが…。2023年11月映画公開予定。

横溝正史ミステリ&ホラー大賞 公募。角川書店主催。平成31年、「横溝正史ミステリ大賞」と「日本ホラー小説大賞」を統合し、ミステリとホラーの2大ジャンルを対象として募集する。

火喰鳥を、喰う 原 浩 913.6/ハ 雄司の実家の墓が壊され、祖父の兄・貞一の名前が削られていた。南方の島で戦死した彼の日記には、島に住む<ヒクイドリ>に対する異様な食欲が描写され…。
(「火喰鳥」より改題)

星雲賞 “日本のSF及び周辺ジャンルのアワードとしては最も長い歴史を誇るSF賞”である。全9部門。前年度に発表された作品および活動の中から、SF大会参加者のファン投票により決定される。

【日本短編部門】
不見^(みず)の月 博物館惑星② 菅 浩江 913.6/ス 地球の衛星軌道上に建造された博物館天体<アフロディーテ>。新人自警団員の兵頭は、同期の学芸員・尚美とともに収蔵物や芸術に関わる事件に対処していく。

【海外長編部門】
三体 [1] ^{リウ}劉 ^{ツェン}慈欣 923.7/リ 文化大革命で父を亡くした科学者は、秘かに地球文明の情報を宇宙に送り出す。そのメッセージを受け取ったのは、地球に最も近い恒星に生きる三体星人だった。

日本SF大賞 日本SF作家クラブが昭和55年に創設し、主催している賞である。各年度の最もすぐれたSF作品に贈ることを目的とし、小説、評論、漫画、音楽など、ジャンルやメディアを越えて授賞される。

歓喜の歌 博物館惑星③ 菅 浩江 913.6/ス ここは博物館天体<アフロディーテ>。自警団員・健と総合管轄部署<アポロン>所属の尚美は、創立50周年記念フェスティバルの夜、巨大贋作組織の摘発に臨む。

時代小説

中山義秀^(なかやまぎしゅう)文学賞 公募。平成5年福島県白河市に設立された「中山義秀文学館」の開館を記念して創設。対象は前年度一年間に刊行された歴史・時代小説。

まむし三代記 木下 昌輝 913.6/キ 美濃で成り上がった法蓮房の息子は、美濃盗りを成し齊藤道三を名乗った。親子の国盗りの最終兵器<国滅ぼし>とは。その核心に迫った三代目・義龍の決断とは。

日本歴史時代作家協会賞 前身は、歴史時代作家クラブが第8回まで発表していた「歴史時代作家クラブ賞」。2019年以降、主催を日本歴史時代作家協会が引き継ぎ、名称も変更された。

【新人賞】
へぼ侍 坂上 泉 913.6/サ 与力の跡取りに生まれた鍊一郎だが、明治維新で家が没落。西南戦争で手柄を立てて、お家再興と意気込むも、配属された部隊の仲間は“くせ者”ばかりで…?!

【作品賞】
まむし三代記 木下 昌輝 913.6/キ (「中山義秀文学賞」欄参照)

本屋が選ぶ時代小説大賞 月刊誌『オール讀物』(文藝春秋刊行)が主催。選考委員はすべて書店員で、1年間に発刊された時代小説の推薦・候補作の中から選考される。

商う狼 永井 紗耶子 913.6/ナ 甲斐の農家から身^{おこ}を興した大坂屋茂十郎は、永代橋の崩落事故で妻子^{うしな}を喪う。世のため人のため、橋の再建に奔走する彼の経営手腕は幕府の知る所となり…。
江戸商人杉本茂十郎

野村胡堂文学賞 大正・昭和を代表する作家である野村胡堂を顕彰する目的で、「一般社団法人 日本作家クラブ」が平成25年創設し、時代・歴史小説作品に対して授与。

八本目の槍 今村 翔吾 913.6/イ (「吉川英治文学新人賞」欄参照)

俳句、短歌、詩、戯曲など

現代俳句協会賞 俳壇における新人の業績を顕彰するため、故 川端茅舎^(ぼうしゃ)を記念し、当初は「茅舎賞」として発足。平成25年度より対象を「作品50句」から「句集」と変更。

ふりみだす 句集 秋尾 敏 911.3/ア “俳文芸は、古典に対しても、社会状況に対しても、<軽やかなつまみ食い>をし続けてきた”(あとがき、p205)と語る俳人による第5句集。

蛇笏(だこつ)賞 昭和42年、角川書店によって「**迢空賞**」と同時に設立された。俳人・飯田蛇笏にちなんで設けられた俳句の賞で“俳句・短歌界に最高の業績を示した句集・歌集に贈られる”。

柿本多映俳句集成 柿本 多映 911.3/カ 全既刊句集に加え、未収録作品も拾遺。生命の息吹をあざやかに軽やかに描き出す、91歳の集大成。

俳句四季大賞 月刊誌『俳句四季』の出版元である東京四季出版が主催する俳句賞。その一年間に出版された句集の中から、“最も優れていると思われる句集”に授与される。

黒き蝶 句集 ^{ともぎた} 蓬田 紀枝子 911.3/ヨ 「目が三分、心が七分」の写生を受け継ぎ、日常の中に息づく自然をありのまま詠み上げる。俳句歴70年超の第5句集。

俳人協会賞 昭和36年、俳人協会創立と同時に創設。期間内に刊行された句集を対象とするが、他賞受賞作品は原則として対象外となる。俳人協会が顕彰する「協会四賞」のひとつ。

つむぎうた 野中亮介句集 野中 亮介 911.3/ノ 寝付くまで母にせがんだ「紡ぎ歌」の思い出。清新な抒情に貫かれた第2句集。

俳人協会新人賞 俳人協会が顕彰する「協会四賞」のひとつで、昭和52年制定。50歳以下の協会会員の第1句集が選考対象となる。

式日 句集 ^{あきと} 安里 琉太 911.3/ア クラシックな感性と斬新な言語感覚を併せ持つ気鋭の作家による第1句集。永遠の景色へといざなう248句。

現代歌人協会賞 現代歌人協会が、短歌の向上発展の一助として昭和31年に設立した新人賞。“歌人の登龍門”として知られる。

感傷ストーブ 歌集 川島 結佳子 911.1/カ 笑いではなく、哀しみでもない。心の感傷を引き出す335首。2014年から2018年に詠んだ歌を編年体でまとめた第1歌集。

月を食う 歌集 佐佐木 定綱 911.1/サ 2022年度、テレビ短歌番組で選者をつとめた歌人の第1歌集。2015年から2019年に詠んだ330首を収録。

斎藤茂吉短歌文学賞 山形県出身の歌人・斎藤茂吉の功績を記念し平成元年に創設。歌集、歌論、歌人研究などを対象に、短歌の分野において優れた業績をあげた者を顕彰する。

石蓮花 歌集 吉川 宏志 911.1/ヨ (「芸術選奨文部科学大臣賞 文学部門」欄参照)

迢空(ちょうくう)賞 短歌界の最高の業績をたたえる賞として、釈迢空(折口信夫)の名にちなんで、昭和42年に角川書店が設立。“短歌界に最高の業績を示した歌集に贈られる”。

遅速あり 三枝昂之歌集 ^{さいくさたかゆき} 三枝 昂之 911.1/サ 山梨に大きな足跡を遺した歌人・飯田龍太の最終句集『遅速』より歌集名をとった第13歌集。山梨県立文学館館長も務める歌人の第13歌集。

H氏賞 昭和25年、H氏(平沢貞二郎氏。昭和35年まで匿名だったためこの名がついた)の基金により設立。“現代詩の芥川賞”と言われ、新人のすぐれた詩集を広く社会に推奨することを目的とする。

量 詩集 高塚 謙太郎 911.5/タ かぎりなく無意識に近い意識のなかで、ことばが自由に飛躍する第5詩集。紙面の文字組にも工夫が凝らされた一冊。

現代詩人賞 中堅以上の詩人の優れた詩集を顕彰することを目的に、日本詩人会が昭和58年設立。

薄明のサウダージ 野村 喜和夫 911.5/ノ 高見順賞や現代詩花椿賞などを受賞してきた現代詩の旗手による一冊。

萩原朔太郎賞 平成4年、前橋市が市制施行100周年を記念し制定。萩原朔太郎の業績を顕彰し、現代詩における最も優れた作品に贈られる。

雨をよぶ灯台 マーサ・ナカムラ 911.5/マ 中原中也賞を受賞した前作から2年、15編をおさめた第2詩集。萩原朔太郎賞創設以来最年少受賞を果たした。

読売文学賞 詩歌俳句賞 昭和24年、“戦後の文芸復興の一助とするため”、読売新聞社が創設。詩歌俳句賞のほか、小説、戯曲、評論・伝記、研究・翻訳、随筆・紀行の6部門について授賞。

歓待 川野里子歌集 川野 里子 911.1/カ 母との思い出を辿るがごとく、その死からを逆編年体で綴る第6歌集。母の死に際しての冒頭の一連『Place to be』等をおさめる。

岸田國士(くにお)戯曲賞 劇作家・岸田國士の遺志を顕彰すべく、白水社が主催する戯曲賞。“新人劇作家の登竜門とされることから、「演劇界の芥川賞」とも称される”。

バックスの信女
-ホルスタインの雌 市原 佐都子 912.6/イ エウリピデス三大悲劇の一つ「バックスの信女」を大胆に解釈。主婦、獣人、乳牛の靈魂たちの合唱隊が猛烈に歌い踊る“会話劇”。他一編。

戯曲福島三部作 谷 賢一 912.6/タ 自治体が原発誘致を決意した1961年から震災が起こった2011年まで…。福島50年間を、三部作・三世代の家族のドラマとして演劇化。

エッセイ、ノンフィクション、学術賞ほか

石橋湛山(たんざん)賞 石橋湛山記念財団により、1980年に創設。政治経済・国際関係・文化などの領域で、石橋湛山の自由主義・民主主義・国際平和主義の思想の発展に貢献した著作に贈られる。

日米地位協定
在日米軍と「同盟」の70年
山本 章子
319.1/ヤ <過剰な優遇>の根源とは。協定の運用にかかる非公開の<合意議事録>の存在とともに、戦後の日米関係史を読み解きながら、日本の「地位」の実態に迫る。

大宅壮一ノンフィクション賞 大宅壮一の業績を記念し、すぐれたノンフィクション作品を表彰する文学賞。主催は日本文学振興会。昭和45年設立以降数度の改称を経て現名称となる。

チョンキンマンションの
ボスは知っている
小川 さやか
334.4/オ 一攫千金を夢見て香港に集まるタンザニア人。巨大複合ビル・^{チョンキンマンション}重慶大廈のボスを自称する男性の日常を中心に、その独自の経済システムやコミュニティを描き出す。
アングラ経済の人類学

大佛(おさらぎ)次郎賞 小説、ノンフィクション、歴史記述など幅広い分野で活躍した作家・大佛次郎の業績を称え、朝日新聞社が昭和48年創設。形式を問わず優れた散文作品に授与される。

金閣を焼かなければならぬ
林養賢と三島由紀夫
^{うつみ たけし}内海 健
910.2/ミ 昭和25年、「美への嫉妬」と喧いた一人の青年僧が金閣寺に火を付けた。三島由紀夫らが作品のテーマとして取り上げた放火事件を、精神医学者が分析する。

開高健ノンフィクション賞 公募。作家の開高健を記念して創設された。主催は集英社。“広いジャンル、自由なものの方・方法によるノンフィクション作品”を募る。集英社出版四賞の一つ。

デス・ゾーン
栗城史多のエベレスト劇場
^{こうの さとし}河野 啓
786.1/ク <七大陸最高峰単独無酸素登頂>への挑戦を続ける中、2018年に滑落死した人気登山家・^{くりきのぶかず}栗城史多。かつてテレビ番組で彼を取り上げた著者が、その真実に迫る。

河合隼雄学芸賞 “優れた学術的成果と独創をもとに、様々な世界の深層を物語性豊かに明らかにした著作”に与えられる。河合隼雄物語賞とともに、選考は一年ごとに行われる。

チョンキンマンションの
ボスは知っている
小川 さやか
334.4/オ (大宅壮一ノンフィクション賞欄参照)
アングラ経済の人類学

講談社科学出版賞 前身は「講談社出版文化賞」。昭和60年に、同賞の一部門「科学出版賞」として新設されたが、平成19年より名称を変更し独立した形となる。

地磁気逆転と「チバニアン」
地球の磁場は、なぜ逆転するのか
菅沼 悠介
450.1/ス (大山田図書室所蔵)

講談社本田靖春ノンフィクション賞 公募も行う。日本のノンフィクションをさらに充実・発展させるため昭和54年に創設。2019年より本田靖春の名を冠し改称。

孤塁
双葉郡消防士たちの3・11
吉田 千亜
369.3/ヨ (阿山図書室所蔵)
ふくしま原発作業員日誌
イチエフの真実、9年間の記録
片山 夏子
543.5/カ 「俺たちは使い捨て」劣悪な労働環境や労働条件、^{かんこう}緘口令…。命を賭けて福島第一で働く原発作業員らの実態や実感を、東京新聞の記者が追った9年間の記録。

小林秀雄賞 小林秀雄生誕100年を記念し、新潮社が主催する学術賞である。自由な精神と柔軟な知性で新しい世界像を提示した日本語作品に授与される。(フィクションは除外) 新潮四賞の一つ。

心を病んだらいけないの？
^{うつ}うつ病社会の処方箋
斎藤 環ほか
493.7/サ 夢を諦めたら負け組なの？ “ひきこもり”専門の精神科医と、重度の鬱を^{うつ}くぐり抜けた歴史学者が、心が楽になる人間関係の在り方を9つのヒントとともに提案する。

サントリー学芸賞 昭和54年創設。広く社会と文化を考える独創的で優れた研究・評論活動を、著作を通じて行った個人に対して授与。「政治・経済」「芸術・文学」「社会・風俗」「思想・歴史」の全4部門。

【政治・経済部門】
日本のセーフティーネット格差
労働市場の変容と社会保障
酒井 正
364.3/サ 働き方が多様化する中で、正規雇用を前提としていた社会保障に^{ほころ}綻びが生じている。働き方をめぐる問題の検討とともに、日本のセーフティーネット再構築を模索する。

【社会・風俗部門】
記憶する体
伊藤 亜紗
369.2/イ 階段の下り方、痛みとの付き合い方…自分だけの体のルールを、誰もが持っている。障害を持つ人の11のエピソードを通して、体に蓄積する記憶と知恵を考察する。

【思想・歴史部門】
五・一五事件
海軍青年将校たちの「昭和維新」
小山 俊樹
210.7/コ 昭和7年5月15日、犬養首相暗殺。事件後、政党政治はなぜ終わったのか？ 世論はなぜ犯人の減刑嘆願に動いたのか？ 戦前政局の最大の分岐点とその後を描く。

小学館ノンフィクション大賞 公募。平成5年「21世紀国際ノンフィクション大賞」として創設され、同賞から回数等を継承。“エンターテインメント色豊かなノンフィクション”を募集する。

愛を描いたひと
イ・ジュンソプと山本方子の百年
大賞 智子 723.2/イ 韓国の国民的画家・^{イ・ジュンソプ}李仲燮と、その妻・方子。戦争や困窮に翻弄された画家は、日本に帰国させた妻子に絵手紙を送り続けた…。運命に引き裂かれた夫婦愛を描く。
(「帰らざる河」より改題)

新書大賞 中央公論新社が平成20年より主催。1年間に発行された新書の中から“その年最高の一冊”を選出。書店員、書評家、各社新書編集部、新聞記者らの投票で決定する。

独ソ戦
絶滅戦争の惨禍
大木 毅 391.2/オ 第二次世界大戦下、独ソ不可侵条約を一方的に破棄したドイツがソ連に侵攻。想像を絶する戦禍をもたらした独ソ戦とはいかなるものだったのかを問い直す。

新潮ドキュメント賞 平成14年創設。ノンフィクション作品を対象に、“現代社会と深く切り結び、その構成・表現において文学的にも良質と認められる作品”に授与される。新潮四賞の一つ。

潜入ルポamazon帝国
横田 増生 673.3/ヨ 今や日本市場や消費者の生活を大きく変えてしまったamazon社。潜入取材の達人が、国内最大規模の小田原物流センターに潜入し、巨大企業の光と影を探る。

日経・経済図書文化賞 昭和33年に設立。日本経済新聞社と日本経済研究センターが共催。過去1年間に刊行された経済・経営に関する図書の中から優れた作品を表彰する。

日本のセーフティーネット格差
労働市場の変容と社会保険
酒井 正 364.3/サ (「サントリー学芸賞」欄参照)

日本エッセイスト・クラブ賞 日本エッセイスト・クラブ主催。“新人エッセイストを待望、これを激励する意をもって”、昭和27年制定。“創作を除く一切の評論、随筆”が対象。

裁判官も人である
良心と組織の狭間で
岩瀬 達哉 327.1/イ 原発再稼働の可否、死刑宣告、「一票の格差」…絶大な権力とともに大きな重責を負う裁判官らの素顔に迫るとともに、閉ざされた世界・裁判所の内幕を描き出す。
万葉学者、
墓をしまい母を送る
上野 誠 916/ウ 故郷の墓をしまい、母を介護して最期を看取った万葉学者。日本人を取り巻く、葬儀やお墓に関する文化や風習を、自身の体験と万葉学の側面から軽妙に語る。

ビジネス書大賞 “1年間で代表するビジネス書を選出し、表彰する、日本初のビジネス書アワード”とし、平成21年創設。

【大賞】
FACTFULNESS
10の思い込みを乗り越え、
データを基に世界を正しく見る習慣
ハンス・ロスリングほか 002.7/フ ^{ファクトフルネス} データや事実にもとづき、世界を読み解く習慣「FACTFULNESS」。〈賢い〉人ほどとられる10の思い込みを指摘し、世界を正しく見る方法について解説する。

【特別賞 ソーシャルデザイン部門】
シン・ニホン
あたか かずと
安宅 和人 332.1/ア 日本の現状をどう考えたらいいのか。子どもにどんな経験を与えて育てていけばいいのか。ファクト(事実)に基づいて日本の現状を分析し、新たな時代を展望する。

【特別賞 ビジネス教養部門】
哲学と宗教全史
出口 治明 162/テ 上野高校出身で、世界初のインターネット生保を起業した稀代の読書家が、100点以上の哲学者・宗教家の肖像を用いて「哲学と宗教」の全史を体系的に語る。

毎日出版文化賞 毎日新聞社が主催する、“優れた著作物や出版活動を顕彰”する出版・文化賞。昭和22年創設。文化・芸術、人文・社会、自然科学、企画の4部門がある。

【自然科学部門】
洪水と水害をとらえなおす
大熊 孝 517.2/オ 我々は河川といかに共生していくべきか？日本人の伝統的な自然観や災害観をベースに、近年頻発する水害の実態と今後の治水のあり方を論じる。
自然観の転換と川との共生

Yahoo!ニュース | 本屋大賞 ノンフィクション本大賞 本屋大賞とヤフー株式会社が共同で設立。ノンフィクション本を対象に、本屋大賞と同じく、書店員の投票でエントリー・受賞が決定する。

【ノンフィクション部門】
エンド・オブ・ライフ
佐々 涼子 490.1/サ 取材を通して友人となった看護師が病を得た。著者は最期の日々をともに過ごし、在宅医療と看取りの現場を見つめ続ける。著者のライフワーク三部作の最終章。

読売文学賞 随筆・紀行賞 昭和24年、“戦後の文芸復興の一助とするため”、読売新聞社が創設。詩歌俳句賞のほか、小説、戯曲、評論・伝記、研究・翻訳、詩歌俳句の6部門について授賞。

最後の読書
津野 海太郎 019.0/ツ 齢八十。目は弱り、記憶力は衰え、本の読み方も読みたい本も違ってきた。本を作り、本を読んできた読書家が、老いてこそ分かった読書の楽しみを軽やかに綴る。



※受賞者がいなかった賞や受賞作の所蔵がない賞については、表記を省いている場合があります。
※「〇〇図書室所蔵」とある本は、配送ができません。カウンターでお申し込みください。